

(1) 単元名 小学校 第3学年「表と棒グラフ」

(2) 指導のねらい

- ・身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理して、これを表やグラフを用いて表したり、読み取ったりすることができるようにする。
- ・簡単な二次元の表を使って、二つの観点から表をみることができるようにする。
- ・資料の中の数量の大きさの違いを一目でとらえることができるという棒グラフの特徴について、表と関連付けながら気付くことができるようにする。
- ・棒グラフの指導において、項目の取り方や並べ方、表題の付け方などについても丁寧に指導するとともに、その読み方においても、数量の大小や差を読むことに加えて、最大値や最小値をとらえたり、全体的な特徴などを読み取ったりできるようにする。

(3) 指導計画 (10時間)

次	主 な 内 容	時間数
1	せいのしかた ・「正」の字を用いた資料の調べ方のよさを理解する。 ・「正」の字を用いて資料を調べた結果を、表に表す。 ・「そのた」の項目や「合計」の欄の意味を理解する。	2
2	棒グラフ ・棒グラフのしくみや読み方を理解し、考察する。 ・1目盛りが1より大きい棒グラフの読み方や、時系列の順に表した棒グラフがあることを理解する。 ・棒グラフの表し方を理解し、資料を棒グラフに表す。	4
3	表 ・観点を決めて資料を分類整理し、それを二次元の表にまとめる。 ・二次元の表の読み方を理解し、特徴を考察する。	2 (本時 2/2)
4	練習問題 ポストテスト	2

(4) 指導の例

ア 本時のねらい

- ・二次元表の中の数が表す事柄を二つの観点に着目して読み取り、その内容を表の中の言葉を用いてかくことができる。
- ・二次元表に示された数の意味を考え、棒グラフと関連付けて考えることができる。

イ 指導過程

※□内は評価の観点を示す。

学 習 活 動 と 発 問	指 導 上 の 留 意 点 と 評 価																																				
1. 課題の把握																																					
1学期のけが調べ (人)																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">しゅるい 月</th> <th style="text-align: center;">4月</th> <th style="text-align: center;">5月</th> <th style="text-align: center;">6月</th> <th style="text-align: center;">7月</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切りきず</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>すりきず</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>つき指</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>打ぼく</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> </tbody> </table>	しゅるい 月	4月	5月	6月	7月	合計	切りきず	0	0	1	0	1	すりきず	1	2	3	2	8	つき指	0	1	1	0	2	打ぼく	1	1	2	0	4	合計	2	4	7	2	15	<p>左の表は、たろうさんの学級のじ童の、けがの記ろく〔1学期〕をまとめたものです。この表から気づいたことをできるだけ多く見つけましょう。</p>
しゅるい 月	4月	5月	6月	7月	合計																																
切りきず	0	0	1	0	1																																
すりきず	1	2	3	2	8																																
つき指	0	1	1	0	2																																
打ぼく	1	1	2	0	4																																
合計	2	4	7	2	15																																
<p>①表の網掛けの部分の「3」が表していることを言葉で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月にすり傷のけがをした人数</li> </ul>	<p>関 表中の数量の意味を読み取り言葉で表そうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大した表を提示する。</li> <li>・人ではなく人数であることを押さえる。</li> <li>・いくつか取り上げて、表の中の数が何を示しているか確認する。</li> </ul>																																				

## 2 課題の追求

### ①気付いたことを発表する。

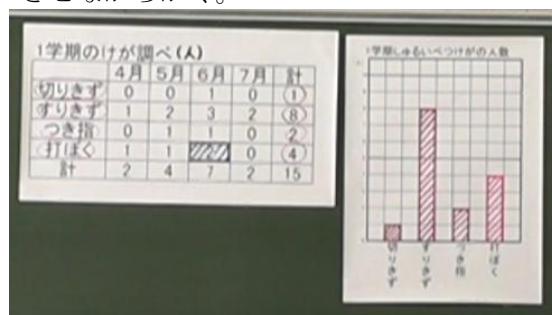
- ・すり傷のけがをした児童の人数が多い。
- ・全部で15人がけがをした。
- ・切り傷やつき指のけがをした児童の人数は少ない。
- ・6月にけがをした児童の人数が一番多い。
- ・4月と7月にけがをした児童の人数は同じ。

### ②「1学期種類別けがの人数」の棒グラフをかく。

**技** 表の特徴を正しく読み取り、言葉で表すことができる。

- ・二次元表の縦や横に注目することで、分かることをできるだけ多く挙げさせる。
- ・発表をさせながら、表で確認していく。

- ・学級全体で1枚かく。
- ・下図のように、表とグラフの項目や数値を対応させながらかく。



2学期のけが調べ (人)

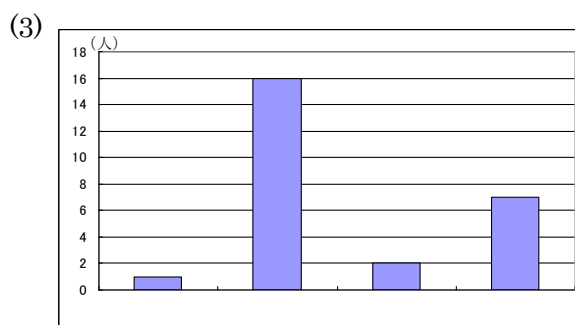
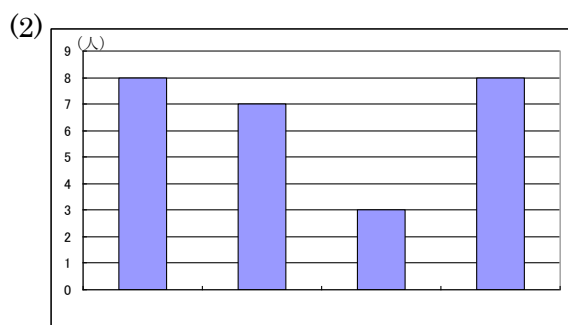
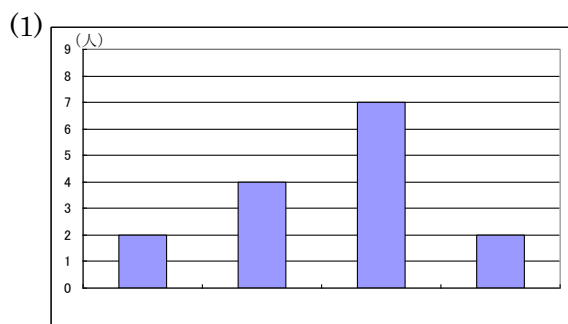
しゅるい 月	9月	10月	11月	12月	合計
切りきず	0	1	0	0	1
すりきず	7	4	3	2	16
つき指	0	1	0	1	2
打ぼく	1	1	0	5	7
合計	8	7	3	8	26

左の表は、たろうさんの学級の児童の、けがの記ろく〔2学期〕をまとめたものです。

たろうさんは、

- 「1学期月べつけがの人数」、
- 「2学期しゅるいべつけがの人数」、
- 「2学期月べつけがの人数」

の3つのグラフをかきましたが、表題とこう目名をつけなかったので、どれがどのグラフかわからなくなりました。



③ 3つのグラフの中から、「2学期種類別けがの人数」を表している棒グラフを選び、そのわけをかく。

- ・「1学期種類別けがの人数」では表の一番右側の合計を棒グラフに表したので、「2学期」も表の一番右側の合計を表した棒グラフを探した。
- ・グラフを読むと「1・16・2・7」となっているので、(3)のグラフが「2学期種類別けがの人数」のグラフである。

**考** 表とグラフを比較し、同じ数量を表す部分を読み取り、そのわけをかくことができる。

- ・まずは、表のどの部分をグラフに表しているか枠で囲ませる。
- ・困っている児童には、表の中で「2学期種類別けがの人数」を表した部分を教師が示し、それらの数字を表している棒グラフを探させる。
- ・不十分な説明を取り上げながら、相手に伝わるようなものに改善していく。
- ・棒グラフを使用すると、視覚的にわかりやすいことを理解させる。

### 3. 学習のまとめ

二次元表の読み方を確認する。



- ・左図のように、残りの2つのグラフが何を示しているかを説明させる活動を行うことで、棒グラフと関連付けながら二次元表の読み方を確認する。

1学期のけが調べ (人)					
月 しゅるい	4月	5月	6月	7月	合計
切りきず	0	0	1	0	1
すりきず	1	2	3	2	8
つき指	0	1	1	0	2
打ぼく	1	1	2	0	4
合計	2	4	7	2	15

左の表は、たろうさんの学級のじ童の、けがの記ろく〔1学期〕をまとめたものです。この表から気づいたことをできるだけ多く見つけましょう。

①上の表の **3** は、何を表していますか。表の中のことばを使って書きましょう。

他の場所にかかれた数字についても、何を表しているか書いてみましょう。

②この表からわかることを、文章で書いてみましょう。

自分の考え

友達の考え

2学期のけが調べ (人)					
しゅるい 月	9月	10月	11月	12月	合計
切りきず	0	1	0	0	1
すりきず	7	4	3	2	16
つき指	0	1	0	1	2
打ぼく	1	1	0	5	7
合計	8	7	3	8	26

左の表は、たろうさんの学級の児童の、けがの記ろく〔2学期〕をまとめたものです。  
たろうさんは、「1学期月べつけがの人数」、「2学期しゅるいべつけがの人数」、「2学期月べつけがの人数」の3つのグラフをかきましたが、表題とこう目名をつけなかったため、どれがどのグラフかわからなくなりました。

(1)

(2)

(3)

2学期しゅるいべつけがの人数の棒グラフはどれだと思いますか。

( )

そう思ったわけを書きましょう。

自分のかんがえ

まず.....

.....

.....

だから.....

.....

.....です。

たろうさんの組では、一人一人のすきなくだものを調べました。

〔男子〕

しゅるい	人数 (人)
りんご	6
いちご	9
バナナ	5
みかん	3
メロン	7
そのた	5

〔女子〕

しゅるい	人数 (人)
りんご	6
いちご	5
バナナ	4
みかん	7
メロン	8
そのた	4

たろうさんは、調べたことをひとつの表にまとめました。

【すきなくだもの】 (人)

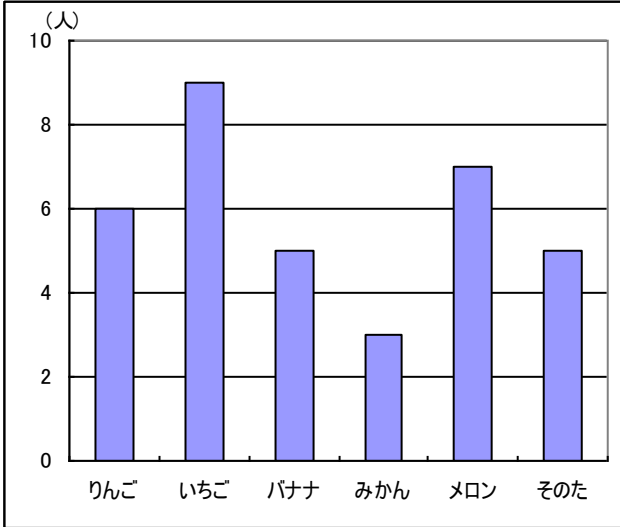
しゅるい	男子	女子	合計
りんご	6	6	12
いちご	9	5	14
バナナ	5	4	9
みかん	3	7	10
メロン	7	8	15
そのた	5	4	9

(1) 3 は、何を表していますか。表の中のことばを使って書きましょう。

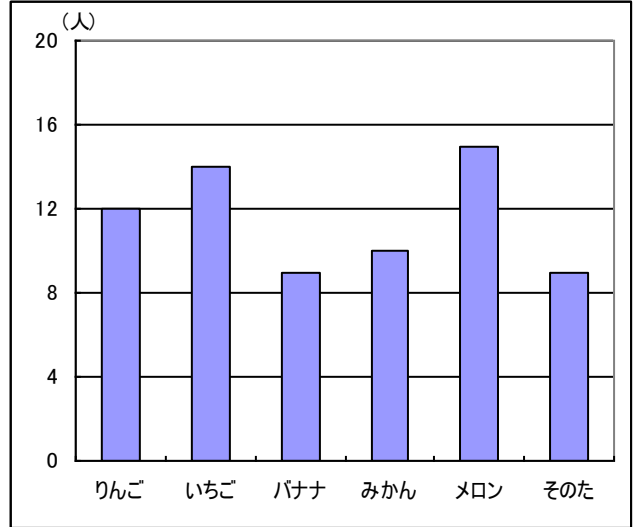
答え

(2) 男子と女子を1つにまとめた表の                      の部分の数を使って書いた  
 ぼうグラフは、下の1から3のうちどれですか。下の1から3までの中から1つえらんで、  
 その番号を書きましょう。また、それをえらんだわけを書きましょう。

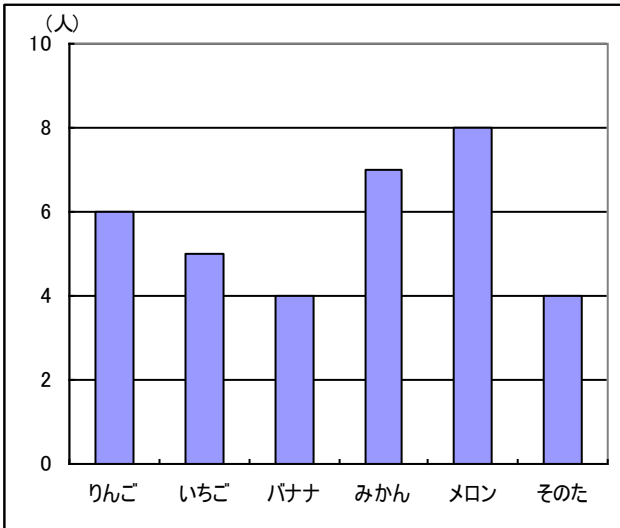
1



2



3



答え

わけ

正答

- (1) (例) **みかんをすきと答えた男子の人数**
- (例) **男子でみかんがすきと答えた人数**
- (a) すきなくだもの名がみかんであること
- (b) 男子であること
- (c) 人数であること（「人」では不正解とする）
- (a) (b) (c) のすべてが入っていること

(2) **2**

わけ

- (例) **2の棒グラフの数を読むと「12・14・9・10・15・9」となっているから**
- (例) **特定のくだものを取り上げ、そのくだものを挙げた人数を表とグラフから正しく読み取って、同じであると説明している**